

医学系研究に関する情報の公開について

(2020-05)

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	当院における pStage I 大腸癌切除症例の再発危険因子と術後フォローアップの検討 Risk of recurrence in patients with pathological stage I colorectal cancer after curative surgery
所属科*	外科
研究責任者*	末田 聖倫
研究実施期間	開始 西暦 2010 年 1 月 1 日 ~ 終了 西暦 2017 年 12 月 31 日 (予定)
対象疾患(予定症例数)	Stage I 大腸癌切除症例 (272 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2010 年 1 月 1 日 ~ 至 西暦 2017 年 12 月 31 日
研究概要*	<p>●研究背景</p> <p>大腸癌は消化器癌のなかでは比較的予後良好とされているが、pStage I 大腸癌でも約 6%の再発があると報告されている。</p> <p>●研究目的</p> <p>本研究では、pStage I 大腸癌切除症例の術後再発危険因子と術後フォローについて検討することを目的とした。</p> <p>●研究方法</p> <p>2010 年 1 月～2017 年 12 月を対象期間とし、当科で根治切除が施行され病理組織学的に pStage I (pT1-2N0M0) と診断された 272 例の臨床病理学的因子について後方視的に再発危険因子の検討を行った。検討項目は、年齢、性別、BMI、ASA、術前 CEA 値、原発巣部位、術式（腹腔鏡か開腹か）、術後合併症有無、主組織型、深達度、リンパ節郭清個数、ly 因子、v 因子とした。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表は外科で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 外科 072(252)3561 末田 聖倫

*記入必須項目